

414
A 2003



市布告案

地租改正係五ヶ年間ハ当初定ムル所ノ地價ニ
拠リ収税致シ期明ニ至リ更ニ調査ノ上改正致
スヘキ若シ付シハ前歲ノ地價甚シキ平準ヲ失
シ其俾振置難ク視認ムルモノハ別冊規則ニ拠
リ更ニ致スヘキ如最地價不適合思之ト視認
ルモノニ限リ猶五ヶ年間其地價ニ拠リ収税致
スヘキ状旨布告致事

年月

大正六年

大正十一年四月
限正
候爵
年
号
月

地租改正事務局



地價更正規則

第一條

地租改正後地價据置年朔明に至り最前ノ地價ニ
据置かたり視認ルモノハ更ニ實地ノ呈況ニ就テ及後
地價ヲ調査スヘシ

第二條

当初査定ノ地價朔明ニ至リ尚平準ヲ失ハスト視
認ルモノハ更ニ地價ノ調査ヲ要セス

第三條

該規則ニ依リテ更正シタル地價ハ以往五ヶ年
据置シルベシ

但荒地漬地或ハ買上地等ニテ地租ヲ免除シ又ハ

荒地遺地ノ起返り及ヒ昇墾年限明或ハ拂下地
等ニテ地租ヲ課スル類ハ本條ノ例ニアラス

第四條

地價据置中期明ニ至リ更正ヲ請求スルモノハ其理
由ヲ用申スヘシ

第五條

前條ニ由リテ更正スヘキモノト視認ル氏ハ地位等級
ヲ編製セシメ收穫地價ヲ開申セシムヘシ

第六條

地押丈量ハ最前検査ヲ經シモノナルハ更正ニ調査スルニ
及ハスト虽氏若シ疎漏ニ失シ地目錯乱及別伸縮
ル等期明ニ至リ是見スル氏ハ官吏ノ視認ニ係ルト
人民ノ實際ニ於ルトハ同地主ニ於テ地押丈量ヲ為シ主務ノ官吏検査

ノ上之ヲ改定スベシ

但敷徳田糧ニ係ルモノハ此限ニ非ス

第七條

若シ地主最前ノ地押丈量ニ正確ナリト申立ルト
虽主務官ニ於テ調査ヲ要スヘキモノト視認スル
氏ハ更正ノ地押丈量ヲ命スヘシ

第八條

渾テ地價ハ收穫地ハ收穫ノ視ルキモノ
地ノ景況ニ據リテ定ムヲ根拠トシ当
初算計ノ方法百ノ三ノ税三分ノ一ノ民費ト利ニ據テ調査
子トテ地價ヲ得ルモノヲ云フスヘシ

第九條

当初ノ米麦價ニ著シキ昂落ヲ生シ更正スヘキト視認
スルモノハ更正ノ前年ヨリ五年間ノ平均ヲ用ユヘシ

地租改正事務

第十條

地目变换スルモ地價据置当年物ヨリ五ヶ年間ト据置シモノハ年朔明ニ至リ実況ニ應ニ近傍類地ニ比準シテ相当ノ收獲地價ヲ定ムベシ

第十一條

該規則ニ由リテ更正シタル地價ニ生スル地租ノ増減ハ更正年度以往ノ改定ニ止リテ肯テ既往ニ溯ラス

但更正ノ後本支ノ如キ増減ヲ生スルモノアルハ整頓ノ年ヨリ改定ニテ又前年ニ溯ラス

第十二條

地價調査整頓稟議ヲ經テ改定ノ後各地主ヨリ地券ヲ出シモノ左式ノ如ク稟書捺印シテ下附

スヘシ

但手数料ハ收入ニ及ハス

稟書式

明治
何年
何月
何日

查定印ハ府縣ニテ
適宜彫刻スヘシ

臺帳ト刻印

府印

地價若干

此地租若干

年月日

府印

第十三條

亦二條ノ趣旨ニ由リテ地價据置ト決スル片ハ地主一同ニ申達シ受書ヲ出シムヘシ
但券状ハ稟書ニ及ハス其傍所持セシムヘシ

逐條會所
ノ稟書
ヲ要ス

地且又三...

第十四條

收獲地價検査ヨリスルノ際若シ地主開申スル
所不相当ナルハ再調査年スルト虽モ地主和
見ヲ添リ首肯セザルハ主務ノ官更衆議ヲ採
リ隣地ニ比準シ適當ノ地價ヲ査定シ經伺ノ上
之ヲ地主ニ申渡スヘシ

第十五條

山林原野ヲ除クノ外耕宅地等ハ總テ此規則ニ
從フベシ

土地改正事務局

第

号

附達格

府 縣

地租改正後年額明地價調査ノ順序別冊ノ通
可相心得此旨相達候事

年月日

總裁

地租改正事務局

地價更正地方官心得書

第一條

地價ヲ調査スルハ止ムヲ得サルニ由ルト虽氏若シ輕忽更正ニ着手シ切リニ瑣末ニ涉ルカ如キハ後ニ官民ノ費用ヲ増スルニ止マラス其弊害勝テ言フヘカラス是ヲ以テ今回ノ調査ハ其得失ヲ審察シ務メテ当初ノ勘損ヲ補綴改良スルヲ主義トスヘシ

第二條

前期査定ノ收獲異同アルモノヲ改良スルハ最難事タリ譬ヘハ甲地乙地ノ比較權衡ヲ失スルモノ其更正宜シキヲ得サルハ丙丁戊己ノ地ニ際限ナク波及シ終ニ收拾スヘカラサルニ至ルヘシ故ニ調査ノ際最モ注意ヲ要スヘキ

元ノトス

第三條

各地及別收獲地價期明ニ於テ増減スヘキ事由十分
確認スルモノヲ除クノ外ハ当初査定ノ額ニ括置ヘシ

第四條

地價更正ヲ要スルモノハ其調査、用フヘキ米麦大豆粟
等ノ價ハ相場立ノ個所ニ就テ更正年度前九ヶ年
間米大豆粟ハ其年十一月一日ヨリ翌年二月廿八日
間年ハ二月廿八日ヨリ五月一日ヨリ八月三十一日ヨリ上
中下品相場ノ平均ヲ準據トシ稟議ヲ經テ之ヲ人民ニ
布達スヘシ

第五條

前條相場立ノ個所管内ハ勿論隣縣内接近地各市

場ノ價位ヲ参考シ其状況ニ應ジ一管内ヲ數區、分
テ該区内市場ノ價位ト常ニ影響ノ著シキ区内市場
ノ價位ト平均スヘシ

第六條

地價算出ノ法ハ土地ニ課スル稅率ヲ減セラレ、由リ自
カラ地價昂昂スヘキノ理ナリト雖モ事情ヲ酌量シ
為メニ地價ヲ增加スルヲ須ヒス都テ為初ノ例ニ如
ル即テ左ノ如シ

一 田舎反歩

此收獲米或石

内米三斗

錢米七斗

種別代定率
是列五分

此田賦在縣務局

代金八四五十弍

内

金八十五弍

金五十四弍

小計金三十四弍

減 金五十四弍

此地價金八十五四

六卜利

土地改正事務

但 金五弍積

地租三分ノ一

地價百分ノ三

第七條

今回ノ調査、際シ最モ民費ノ節省ニ注意シ村々ノ地
圖ハ勿論帳簿ノ如キモ成ルハキ丈々当初調製ノモノ
ヲ用ヒシメ、条書貼付ノ事ヲ以テ全圖整理
ノ用ニシテ、圖ヲ明記シ得ルモノヲ云フ 実地百般ノ調理ハ簡
易ニシテ要領ヲ得ルヲ主トシ、条書貼付ノ事ヲ以テ全圖整理
ノ用ニシテ、圖ヲ明記シ得ルモノヲ云フ 実地百般ノ調理ハ簡
易ニシテ要領ヲ得ルヲ主トシ、条書貼付ノ事ヲ以テ全圖整理
ノ用ニシテ、圖ヲ明記シ得ルモノヲ云フ 実地百般ノ調理ハ簡

順序ヲ設ケ稟議ヲ經テ后々之ヲ管下ニ布達スヘシ

第八條

既漏重複地々目ノ錯乱及別ノ伸縮等ヲ復原シ更
正ヲ請求スル時ハ地目及別ヲ改定シ、条書貼付ノ事ヲ以テ全圖整理
ノ用ニシテ、圖ヲ明記シ得ルモノヲ云フ 画面帳簿ヲ更
正シテ進達セシムヘシ

第九條

当初査定ノ收穫地價全村更正ヲ請求スルト一村中
幾分ノ更正ヲ請求スルト同ハス、条書貼付ノ事ヲ以テ全圖整理
ノ用ニシテ、圖ヲ明記シ得ルモノヲ云フ 其請求スル旨、
ト部分トヲ簡約ニ明記シ一村毎地主連印ヲ以テ用
甲セシムヘシ

但地租改正ノ当初組合ヲ立若テ村連合調理セシ
モノハ其組合村々毎地主連印ヲ以テ同申セシメ、
誤認等上一一村々看做スヘシ

土地改正事務

第十條

改組ノ當リ區區位村位等ヲ公議ニ附シテ決定セシモノ
ハ手馴明ニ至リ更正請求ノ際モ必ス公議ヲ經テ後
開申セシムヘシ

第十一條

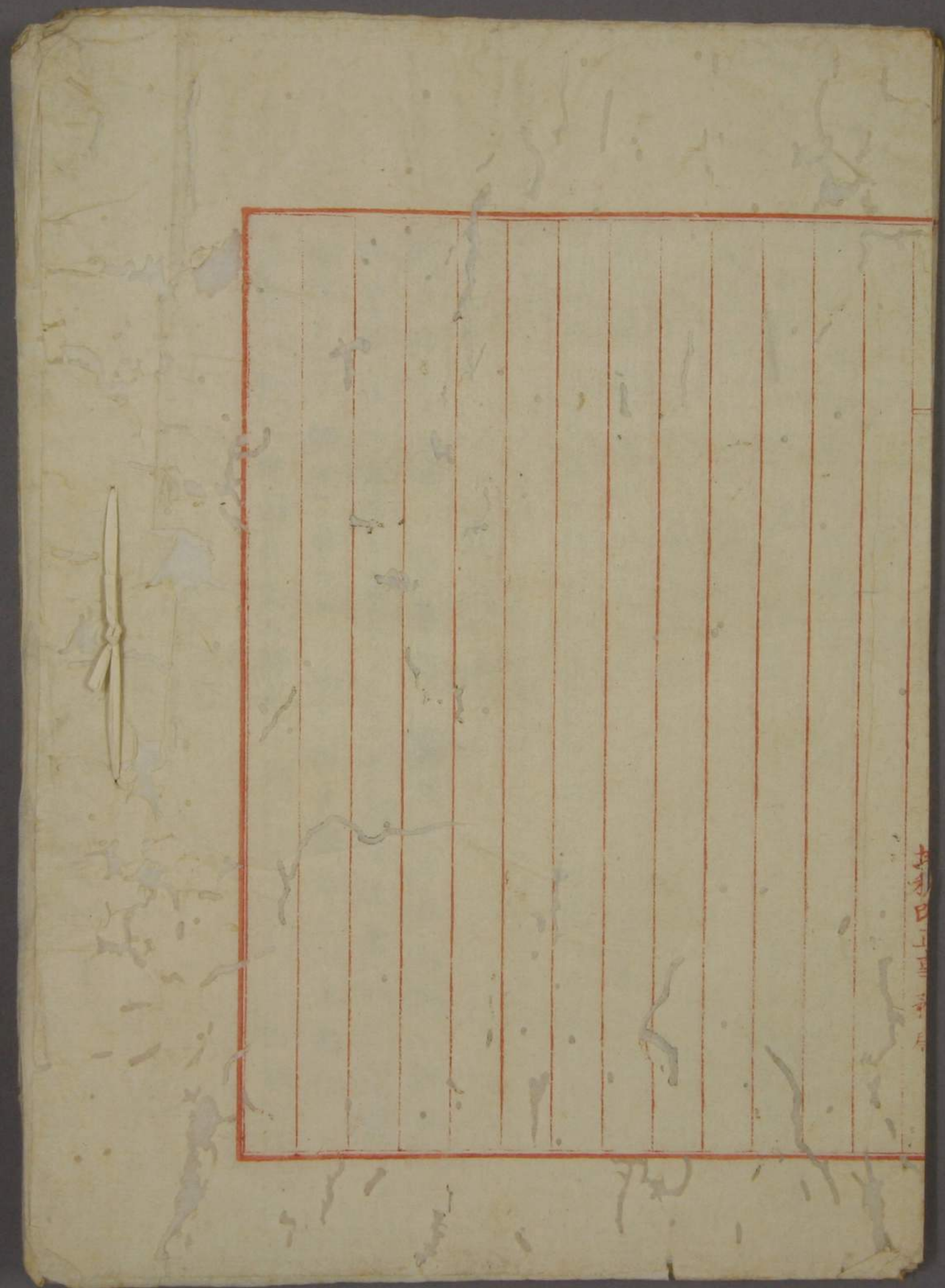
人民更正ヲ請求スルハ其更正スヘキト據テハキモノト
ラ区分シ更正ニ係ルモノハ其理由ヲ簡明ニ記載シテ之
ヲ具申スヘシ

第十二條

地價據置ノ地ニシテ更正スヘキト更正請求ノ地ニシテ據置ヘ
キヲ至當ト視認スルモノアルハ第十一條ニ由リ稟議所
ノ上其地ヲ據置シ更正ニお當ノ開申ヲナサシムベシ

第十三條

收穫地價一時總計上ハ相考ト視認ルモノニシテ内部ノ右
地平準ヲ得サル所アルニ依リ地主協議ノ上其總計ヲ
據置内郡ノ各地ヲ更正セシムル總地主連印ヲ以テ請
求スル時^ハ之ヲ聽ルニ一筆限り更正ノ收穫地價ヲ開申
シムヘシ



古
日
上
區
書
房